

今後、重点的に取り組む事業（継続申請事業）

1 継続申請事業

- 今年度末を以て、地方創生推進交付金充当事業の当初計画期間が満了を迎える。本事業の成果として、事業目的である「観光で地域が潤う仕組みの構築」は概ね達成できた。ただし、KPI の達成度合いに足並みの乱れがあることで、十分に機能を発揮できていないため、事業効果のボリュームアップを図りたい。
⇒ 情報発信力は一定程度身につけたので、「清洲城入場者数の底上げ」と「観光消費の底上げのさらなるベースアップ」につながる取組への継続的な注力が必要
- 最長5箇年分まで国庫補助の対象となることから、以下の事業構成で、事業を2箇年継続するために国のスケジュールに従って、実施計画を提出済み。（2/9 現在：国で審査中）

継続理由	事業概要（令和5年度）	予算（案）	
		令和5年度	令和6年度
清洲城入場者数の底上げ	<p>■ 清洲城集客力向上官学連携事業委託費 1,500千円</p> <p>きよすイルミ開催にあたって、アート・デザイン系学校（専門学校等）との官学連携で、きよすイルミの世界観と調和した光・造形物を制作設置する。これにより、清洲城周辺で行うイベント来場者を清洲城入場へと誘導を目指す。</p> <p>[補足]「きよすイルミ×アート・デザイン系学校」という座組で事業を立案する理由 令和4年度に最も誘客効果のあった「きよすイルミ」と組み合わせるサイドイベントとして実施することで、事業効果の最大化を目指す。また、イルミネーションという演出方法との親和性に鑑み、視覚・聴覚に訴える内容で、イルミの世界観を壊さずに清洲城入場者数を底上げする演出を施すことが期待できる。</p>	清洲城誘客力向上委託事業費 1,500,000円	清洲城誘客力向上委託事業費 1,000,000円
KPI 項目間の好循環の確立	<p>■ 清須市観光協会プロモーション促進事業補助金 1,500千円</p> <p>SNS 広告の活用を軸として、観光情報発信コンテンツ（情報冊子や動画、ホームページ）、大河ドラマ観光や武将観光イベントなどのプロモーションを推進する。</p> <p>■ 清須市特産品開発支援事業補助金 3,000千円</p> <p>市内での観光消費を底上げとコロナ禍で業態変化や新たな製品開発にチャレンジする企業や事業者を支援し、市や市観光協会が有する官学との連携ノウハウを生かし、売上げ向上に繋がる市特産品開発を支援する。</p>	<p>SNS 等を活用した DX による観光・産業情報発信事業 1,500,000円</p> <p>特産品開発事業費補助金 3,000,000円</p>	<p>SNS 等を活用した DX による観光・産業情報発信事業 1,000,000円</p> <p>特産品開発事業費補助金 2,000,000円</p>
		6,000,000円	4,000,000円

2 令和5年度以降の会議体の組織体制について

- 国へ申請中の上記継続事業は、従前事業の効果をボリュームアップさせることが目的であり、従前のような事業の骨格づくりレベルで、民間セクターの外部委員から意見聴取を行う必然性がなくなる見込み。そこで、地方創生に係る会議体を「清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」のみとする令和元年度以前の体制に復したい。

会議名 [設置時期]	所管課	役割 [委員構成]	設置根拠	令和5年度以降
清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 [平成27年度]	企画政策課	清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び地方創生推進交付金事業に係る外部評価組織 [有識者、産業界、金融機関、教育界、労働組合等の代表者]	・まち・ひと・しごと創生法 ・会議設置要綱	存続 [法定会議]
観光・産業きよす会議 [令和2年度]	産業課	「中小事業者の稼ぐ力創生と稼ぐ力を高めるための観光・産業活性化プロジェクト」の推進本部 [有識者、商工会、観光協会、金融機関、鉄道事業者等の代表者]	・地方創生推進交付金実施計画 ・会議開催要領	(当初の予定通り) 令和4年度を以て 終了
分科会 [令和2年度]	産業課	「中小事業者の稼ぐ力創生と稼ぐ力を高めるための観光・産業活性化プロジェクト」の実務協議組織 [有識者、公募市民、商工事業者、観光ボランティア、金融機関、商工会青年部]	・地方創生推進交付金実施計画書	

観光・産業きよす会議委員の皆様におかれましては、3年間にわたりご指導賜りまして、誠にありがとうございました。